

# 令和7年度重層的支援体制整備事業の取り組みについて

## 1 普及啓発・周知

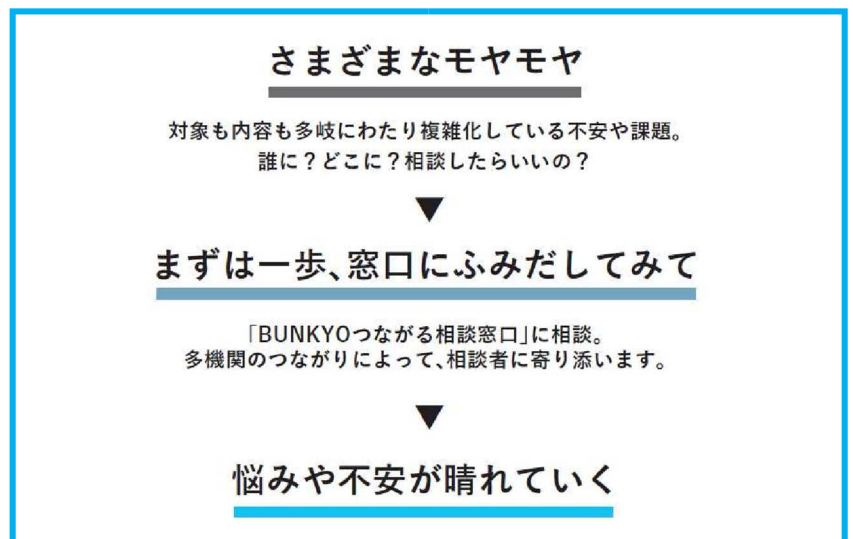
### (1) つながる相談窓口ロゴマーク作成

複合化・複雑化した課題や制度の狭間の課題に向き合う体制整備があることを対外的に示し、メリットを伝えた。

#### ▼ロゴマーク



#### ▼ロゴマークの意図



### (2) パネル、ポスター、リーフレットによる「つながる相談窓口」周知

区民への周知及び包括的支援体制の連携強化を図るため、10月を周知月間と位置づけ、区報ぶんきょう10月10日号による周知とプレスリリースを行い、併せてロゴマークの入った相談窓口の目印となるパネル2枚とポスター、リーフレットを全ての「つながる相談窓口」に、また区設掲示板と区民施設にポスターとリーフレットの掲出を依頼した。掲出後、ポスターを見た区民より23件の相談が福祉政策課に入り、「つなぐシート」を活用し、複数の相談機関※をつなぐ相談支援を実施した。

また、リーフレットを動画化し、シビックセンター地下2階区民ひろばマルチビジョンで放映した。

※高齢福祉課、地域包括支援センター、子ども家庭支援センター、生活福祉課、社会福祉協議会、保健サービスセンター等

	配布箇所	配布枚数
パネル（相談窓口の目印）	29箇所	58枚
ポスター	93箇所	123枚
リーフレット	94箇所	915枚



必要な支援を あなたとともに考えます

適切な機関につなぎ チームで支援します

つながりを持てるように 支援します

解決策を一緒に考えて 安心して暮らせるよう 支援します



BUNKYO つながる 相談窓口  
Connect & Support Desk

あなたの「困りごと」 私たちに相談してみませんか？



BUNKYOつながる 相談窓口について



重層的支援体制 整備事業について

ふんきょうチームでまるごと支援 (重層的支援体制整備事業) 担当

〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21

文京シビックセンター 11階北側

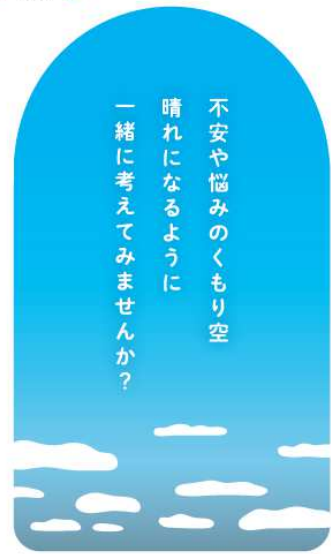
福祉政策課 地域共生社会推進係/福祉保健政策推進担当

TEL 03-5803-1323/1222

FAX 03-5803-1357



印刷番号 E0125017



BUNKYO つながる 相談窓口

Connect & Support Desk

BUNKYOつながる相談窓口では

分野や世代を問わず

あなたの「困りごと」をまるごと

受けとめます

例えば こんな不安や悩み ありませんか？



相談窓口 MAP

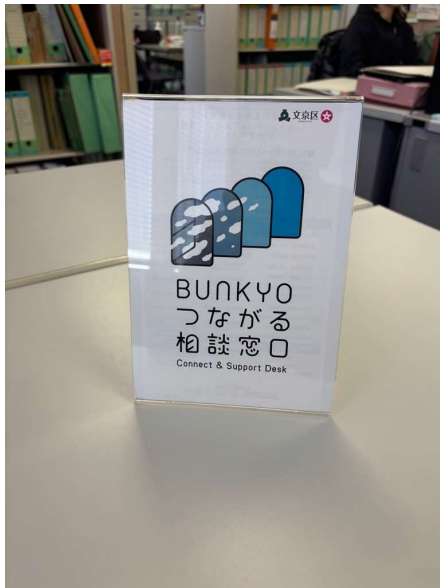
- A** シビックセンター内  
福祉政策課 高齢福祉課 障害福祉課 生活福祉課  
介護保険課 子育て支援課 子ども家庭支援センター  
予防対策課 保健サービスセンター  
教育指導課 児童青少年課 自立相談支援窓口
- B** 保健サービスセンター本郷支所  
03-3821-5106
- C** 社会福祉協議会  
03-3812-3040
- ひきこもりについて
- D** ひきこもり相談 (茗荷谷クラブ)  
03-3941-1613
- 子どもについて
- E** 教育センター  
03-5800-2591
- F** 児童相談所  
03-3811-5241
- 障害について
- G** 障害者基幹相談支援センター  
03-5940-2903
- H** 本富士生活あんしん拠点  
03-3868-3033
- I** 駒込生活あんしん拠点  
03-5832-9720
- J** 富坂生活あんしん拠点  
03-5810-1530
- K** 大塚生活あんしん拠点  
03-6801-5216



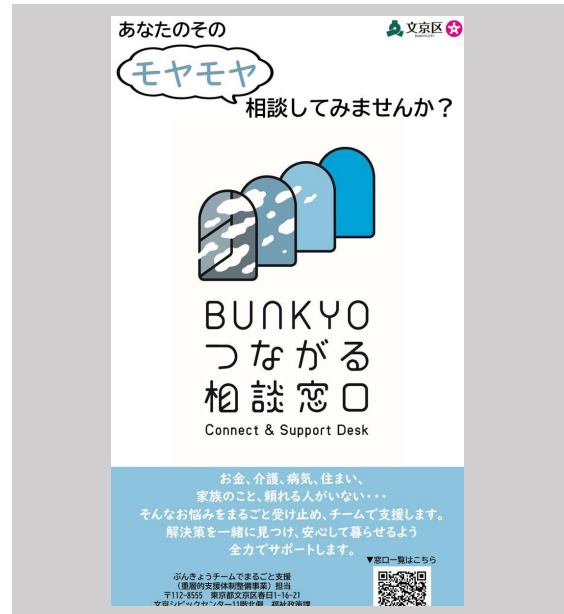
高齢・介護について

- L** 高齢者あんしん相談センター富坂  
03-3942-8128
- M** 高齢者あんしん相談センター富坂分室  
03-5805-5032
- N** 高齢者あんしん相談センター大塚  
03-3941-9678
- O** 高齢者あんしん相談センター大塚分室  
03-6304-1093
- P** 高齢者あんしん相談センター本富士  
03-3811-8088
- Q** 高齢者あんしん相談センター本富士分室  
03-3813-7888
- R** 高齢者あんしん相談センター駒込  
03-3827-5422
- S** 高齢者あんしん相談センター駒込分室  
03-6912-1461

## ▼パネル



## ▼ポスター



### (3) 区ホームページに事業掲載

事業の意義や各事業内容、文京区の特徴的な取組等についてイラストを交えてわかりやすく発信。帳票類や帳票類の手引き等を掲載した支援者向けのページも作成するとともに、ホームページのアクセス状況等のデータ分析を行い、トップページの相談窓口ページにリンクを貼る等利便性を高めた。

### (4) つながる相談窓口共通ルール、つなぐシートの再周知

既存の区相談窓口及び区内相談支援機関において、従来の法制度に基づいた対象者以外の方からの相談であっても、まずは“まるごと受け止めてもらう体制”を構築するため、共通ルールや帳票類（つなぐシート等）を窓口パネル配布と同時に再周知した。

## ▼共通ルール（一部抜粋）

包括的相談支援事業（つなぐ相談窓口） 共通ルール

①区民からの相談を断らない

- 自分の所管でない相談内容も断らずに聞き、関係機関へつなぐ。
- 相談者の属性、世代、相談内容等に関わらず相談を幅広く受け止める。

②関係機関からのつなぎを断らない

- つなぎを受けた課は、適用できる制度・サービスがない場合でも、断らない。どのような支援が適切か、つなぎを行った課と一緒に考える。
- フォーマル資源を活用した短期的な問題解決だけでなく、長期的な寄り添い等、“伴走”<sup>※1</sup>を意識したインフォーマルな支援を行う。

③“つなぐ”の解釈をバトンタッチ型からスクラム型に変える

- 複合的な課題や制度の狭間（グレーなケース）に対して、互いに連携し、役割分担する意識をもつ。

## ▼つなぐシート（表）

～あなたのお悩み受け止めます～



基本情報

ふりがな		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 未記以外		
氏名		生年月日	( ) 歳		
住所	〒 _____ 文京区				
電話	自宅		携帯		
来談者 がご本人 以外の場合	氏名		来談者との 関係	<input type="checkbox"/> 家族（本人との続柄： ） <input type="checkbox"/> その他（本人との関係： ）	
	電話				

家 族 構 成	氏名	年齢	続柄	備考	

ご相談内容

ご相談されたい内容に○をおつけ下さい。複数ある場合は、一番お困りのことに○をおつけ下さい。

<input type="checkbox"/>	病気や健康、障害のこと	<input type="checkbox"/>	住まいについて	<input type="checkbox"/>	収入・生活費のこと
<input type="checkbox"/>	家賃やローンの支払いのこと	<input type="checkbox"/>	税金や公的料金の支払いについて	<input type="checkbox"/>	債務について
<input type="checkbox"/>	仕事探し、就職について	<input type="checkbox"/>	仕事上の不安やトラブル	<input type="checkbox"/>	地域との関係について
<input type="checkbox"/>	家族との関係について	<input type="checkbox"/>	子育てのこと	<input type="checkbox"/>	介護のこと
<input type="checkbox"/>	ひきこもり・不登校	<input type="checkbox"/>	DV・虐待	<input type="checkbox"/>	食べるものがない
<input type="checkbox"/>	その他 ( )				

ご相談されたいことや配慮を希望されることを具体的に書いてください。

※つなぐシートは福祉政策課にてとりまとめています。

（５）事業説明会、関係機関との意見交換会、つなぐ相談窓口の周知について  
重層的支援体制整備事業説明会を実施し事業の活用を推進するとともに、各支援機関と意見交換を通じて地域課題や複雑化・複合化した事例について共通認識を築いた。

開催日	内容	対象者（訪問先）	参加人数
4月11日	重層事業説明会及び意見交換会	やまて企業組合	2人
4月14日	重層事業説明会及び意見交換会	高齢者あんしん相談センター 駒込、駒込分室	8人
4月15日	重層事業説明会及び意見交換会	青少年健康センター	3人
4月25日	重層事業説明会及び意見交換会	社会福祉協議会（権利擁護センター）	5人
5月13日	重層事業説明会及び意見交換会	障害者基幹相談支援センター	7人
5月14日	重層事業説明会	区職員、支援機関職員	66人
5月20日	重層事業説明会及び意見交換会	高齢者あんしん相談センター 富坂・富坂分室	4人

6月2日	重層事業説明会	保護司会役員会	6人
6月3日	重層事業説明会及び意見交換会	高齢者あんしん相談センター 本富士・本富士分室	10人
7月14日	重層事業説明会	民協副会長会	16人
7月23日	重層事業説明会	社会福祉法人連携文京区地域 公益活動ネットワーク	21人
8月26日	重層事業説明会及び意見交換会	本富士生活あんしん拠点	7人
8月27日	重層事業説明会及び意見交換会	大塚生活あんしん拠点	3人
9月2日	重層事業説明会及び意見交換会	富坂生活あんしん拠点	4人
9月17日	重層事業説明会及び意見交換会	駒込生活あんしん拠点	1人
10月28日	つながる相談窓口の周知	文京槐の会	3人
11月10日	つながる相談窓口の周知	アンビション文京	1人
11月18日	つながる相談窓口の周知	マイポジション	1人
12月22日	重層事業説明会（文京お届け講座）	お茶の水女子大学 生活科学部	27人

計 19 回

合計 195 人

## 2 人材育成

重層的支援体制整備事業における理念・課題の共有や、地域の先駆的な取組の紹介・事例検討を通じ、支援者の資質向上や包括的な支援体制の強化を図った。

開催日	研修名・テーマ・講師	対象者	参加人数
7月25日	第1回重層的支援体制整備事業研修 テーマ：ぶんきょうチームでまると支援研修 講師：特定非営利活動法人まつど NPO 協議会 理事 阿部 剛氏	区職員 社協職員	25人
8月22日	第2回重層的支援体制整備事業研修 テーマ：重層的支援体制整備事業を理解する 講師：上智大学総合人間科学部社会福祉学科 准教授 鍋木 奈津子氏	区職員 支援機関職員 民生委員	76人
9月26日	第3回重層的支援体制整備事業研修 テーマ：地域支援者とともに 「つなぐ」「伴走する」について考える 講師：中高年事業団やまて企業組合 宗像 啓輔氏		45人

	<p>文京区社会福祉協議会 ぶんたねこいしか和</p> <p>上村 紗月氏 金谷 翔太氏 高嶋 弘子氏</p>		
11月17日	<p>第4回重層的支援体制整備事業研修 テーマ：初回面接のアセスメントと対応 ～「つなぐ」「チームをつくる」～ 講師：杏林大学保健学研究科 地域看護学研究室 教授 大木 幸子氏</p>	区職員 支援機関職員	32人
12月19日	<p>第5回重層的支援体制整備事業研修（講演会） テーマ：1人ひとりによりそえる地域へ ～ともにいる日常を育む～ 講師：NPO 法人抱樸理事長、東八幡キリスト教会牧師 奥田 知志氏</p>	区内在住・ 在勤・ 在学者	94人
3月11日	<p>第6回重層的支援体制整備事業研修 テーマ：文京区における自殺対策の現場から 地域連携の可能性を考える ～精神科救急と重層的支援体制整備事業の連携～ 講師：日本医科大学付属病院 精神医学教室 講師 野上 毅氏</p>	区職員 支援機関職員	22人
12月15日～ 2月20日	<p>包括的支援体制と地域共生社会・共生社会の実現に向けた総合研修（日本社会事業大学による厚労省委託オンデマンド総合研修） 内容：各種専門研修全20回 録画配信</p>	区職員 支援機関職員	20人

合計 314人

### 3 関係機関の連携・ネットワーク強化

#### (1) 文京区重層的支援体制整備事業関係者連絡会

専門職の負担を軽減し、より効果的なチーム支援を実現するため、既存の「ひきこもり等自立支援会議（親会）」と「ヤングケアラー支援対策関係者連絡会」を統合・整理し、「重層的支援体制整備事業関係者連絡会」を設置した。

	開催日	主な報告・検討事項等
第1回	8月22日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重層的支援体制整備事業の実施報告について</li> <li>・意見交換会</li> </ul>

第2回	1月23日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度文京区版ひきこもり総合対策について</li> <li>・令和7年度重層的支援体制整備事業の取り組みについて</li> <li>・令和7年度受理事例について</li> <li>・意見交換</li> </ul>
-----	----------	--

(2) 文京区重層的支援体制整備事業関係者連絡会作業部会

	開催日	主な報告・検討事項等(重層事業に関するものを記載)
第1回	4月25日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度重層的支援体制年間スケジュールについて(研修、支援会議、事業説明会等の詳細含む)</li> <li>・支援会議開催予定の事例について</li> <li>・「I. 包括的相談支援事業」に係る相談数等の集計依頼について</li> <li>・つなぐシートの活用方法について</li> </ul>
第2回	6月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重層的支援体制整備事業に係る統計の集計依頼について</li> <li>・令和7年度受理事例について</li> <li>・ぶんきょうチームでまるごと支援研修について</li> <li>・「BUNKYO つながる相談窓口」ロゴマークについて</li> </ul>
第3回	8月22日(金)	第2回重層的支援体制整備事業研修受講
第4回	9月26日(金)	第3回重層的支援体制整備事業研修受講
第5回	11月17日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回重層的支援体制整備事業研修受講</li> <li>・令和7年度受理事例について</li> <li>・令和8年度研修について</li> </ul>
第6回	12月19日(金)	第5回重層的支援体制整備事業研修(講演会)受講
第7回	3月11日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回重層的支援体制整備事業研修受講</li> <li>・令和7年度第2回重層的支援体制整備事業関係者連絡会の報告</li> <li>・令和8年度支援会議年間スケジュールについて</li> <li>・令和8年度重層的支援体制整備事業研修について</li> <li>・福祉職が配属されている系の係長向けアンケート及び福祉職向けアンケートの実施について</li> <li>・重層的支援体制整備事業交付金について</li> </ul>

### (3) 支援会議等

支援会議（モニタリング会議・書面開催含む）17回

## 4 相談・支援策の構築

### (1) ひきこもり地域共生サポート事業（生活福祉課・参加支援事業）

地域のひきこもり支援に関心のある人が、安心してアウトリーチ支援に継続的に関わることができる仕組みを作り、ひきこもり本人と関われる人を広げていくことで、地域共生社会の実現を目指す。

### (2) 地域資源の把握と開発

積極的に地域に出向き地域団体等と顔の見える関係性を築くとともに（1(5)も参照）、地域づくり事業と関係が深い庁内外関係機関の会議等に参加した。

#### ○庁内

ひきこもり等自立支援会議、要保護児童対策地域協議会実務者会議、生活支援コーディネーター定例会議、ひきこもり支援従事者養成研修、教育と医療と福祉の連携と課題（文京区障害者地域自立支援協議会主催研修）、DV被害者支援庁内連携会議の研修、離婚前後の家庭支援に関する知識習得研修、事業所実践報告会（障害者基幹相談支援センター主催研修）、ケアマネジメント従事者研修、自殺未遂者等支援拠点医療機関整備事業「若者の自殺予防」、東大看護が教える！共に学ぶ「ケア」講座、在宅医療検討部会ワーキンググループ、指定特定相談支援事業所連絡会（事例検討会） 他

#### ○庁外

権利擁護支援連携協議会実務者会議、地域の子育てサポート連絡会円卓会議、子ども食堂連絡会、本富士地区弁護士連絡会、文京区地域公益活動ネットワーク総会・防災勉強会、地域共生社会の在り方検討会議、日本自殺総合対策学会 2025 年夏季講演会、こどものウェルビーイングと地域リエゾン研修、大塚地区あんしんネット連絡会、本富士地区地域ケア連絡会議、地域福祉の推進に向けたシンポジウム（都）、重層的支援体制整備事業後方支援事業事例報告会（東社協） 他

### (3) サポート体制の整備

複雑化・複合化した課題や制度の狭間にあるニーズへの対応力を高めるため、支援会議から得られた事例の特性や今後の支援で重視するべき点を明らかにするとともに、連携体制の核となる職員の育成を目指し、福祉職のスキルアップに役立つ冊子の企画・制作に先行し、アンケート調査を実施した。